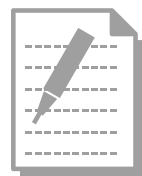


市民意識調査の意見と対応を紹介します

今後の市政運営に活用するため、平成24年度の市民意識調査を5月に実施しました。先月号でその主な結果を掲載しましたが、今月から、その他意見についての対応を一部要約して連載いたします。今月号は企画財政部への意見と対応を掲載します。



【調査概要】三好市全域を対象とし、20歳以上を送票率を1,200人（無作為抽出）に調査票を配布し、529人（回収率44.08%）から回答を得ました。

【企画調整課】

意見 池田地区には、市民・子どもたちが遊べる公園や広場が乏しい。市民プール（50m級）もない。老人や子供が遊びに行けるように、諏訪神社の下の方に（川の側に）滑り台やブランコがある公園や、老人たちが楽しめるゲートボール場を作ってほしい。

対応 公園整備については、関係部署にて協議調整（検討）をしています。

意見 「買い物難民」は他人事ではないと思う。安心して老後が過ごせるよう、具体的な施策をしてほしい。（現在進行中ならばPRしてほしい）

対応 平成23年度から実施している集落支援包括事業では、主に山間部の買い物弱者対策として、移動販売車などの生活支援を行っており、高齢化の進行により、市街地でも顕在化しつつある買い物弱者対策についても、総合的な生活支援の観点から、必要な施策を検討します。

意見 自治会などの意見は行政に届いているのか。

【地域振興課】

意見 自治会長や移動市長室などを通じて、ご意見ご要望をいただいております。

対応 交流拠点施設は、音楽・舞台芸術を中心とした文化芸術について鑑賞の機会を提供し、地域文化の振興に向け市民が集い、創造、発信する事ができる施設として、市内外の交流を受け入れ、促進する施設として、市内の芸術文化の発表、県立美術館の移動展などが開催できる施設として、三好市ならではの独自性を持つ施設として、整備して参りたいと考えています。市民の皆様のご意見を施設設計に反映する事の可能な手法として、設計者選定の際には、プロポーザル方式による提案を募集します。施設の機能を備えることと共に、魅力ある都市景観として、まちづくりのシンボルとなる施設整備を目指しています。

を行っておりますのでご相談ください。

意見 三好市（池田町）にたくさんな施策を考えてほしい。

対応 定住用団地整備として、現在、池田町・三野町に住宅用地を整備し販売を行っております。また、UITA希望者に対する相談も行っています。

意見 休校の学校でもキレイな所も多い。祖谷の小学校なども宿泊施設などに使ってはどうか。

【財政課】

対応 地域住民の意見をお聞きして、活用アイデアの公募なども図り、施設の有効な活用策を検討してまいります。

意見 市政はおおむね充実していると感じているが、

対応 少子高齢化の進展、地方分権の推進などの課題に対応するとともに、市民事業者、行政などが対等な立場で責任を共有し、互いに協力していく相互協働システムの構築を目指し取り組んでいます。また、行政課題に対し、公平かつ効率的に予算配分を行うことを基本として取り組んでいます。

意見 予算の有効活用をしてほしい（偏りがある）。

対応 限られた財源を有効活用するために、「産業基盤の強化」と「暮らしの安全・安心」を主眼においた予算編成を行っています。今後も、地域経済の振興や市民生活の向上に取り組んでいきます。

【文化交流推進課】

意見 交流拠点施設をつくるのであれば反対者を納得させるような説明をし、市民の声や希望を集め目に見える形で市民に発表し、デザイナーも公募（建築デザイナー）し、三好市の特徴を生かした素晴らしい建物にしてほしい。建設後の経費は民間の方

法を取り入れ、無駄のない活用をしてほしい。

対応 交流拠点施設は、音楽・舞台芸術を中心とした文化芸術について鑑賞の機会を提供し、地域文化の振興に向け市民が集い、創造、発信する事ができる施設として、市内外の交流を受け入れ、促進する施設として、市内の芸術文化の発表、県立美術館の移動展などが開催できる施設として、三好市ならではの独自性を持つ施設として、整備して参りたいと考えています。市民の皆様のご意見を施設設計に反映する事の可能な手法として、設計者選定の際には、プロポーザル方式による提案を募集します。施設の機能を備えることと共に、魅力ある都市景観として、まちづくりのシンボルとなる施設整備を目指しています。

意見 コンサートなどを開催できるような大きな建物をつくる予定とのことだが、本当に必要だろうか。市民の意見を聞いていないように思う。多大なお金で作るのだから、そのお金は老人子どもにも使う必要があると思

対応 B Sパススルーにおいての視聴は、FTTH方式（居宅引き込みが光ケーブル）でなくてはできません。

【情報政策課】

意見 S T Bをつけなくても、B Sパススルー方式にして見えるようにしてもらいたい。

対応 B Sパススルーにおいての視聴は、FTTH方式（居宅引き込みが光ケーブル）でなくてはできません。

将来的な国際化に向けての対策はさらに必要と思う。市民が国際情勢にも関心を持っているような施策を期待している。

対応 三好市はアメリカの2市と姉妹都市提携を行い、毎年、中学生を中心とした親善団の受入れや派遣を行い、国際化社会にふさわしい人材育成の取り組みを実施しています。本年は4月と8月に両市から17名が三好市を訪れホームステイを行いました。10月には三好市親善団23名がザ・ダルス市に派遣されました。

意見 旧合併町村間の格差の大きい行政サービスおよび予算配分をしてほしい。

現在、池田地区においてHFC方式（居宅引き込みが同軸ケーブル）のため、三好市全域で同じサービスを提供することができない状況であり、現状でB S・C Sを視聴するために、S T Bもしくはパラボラアンテナの設置が必要となります。ご理解いただけますようお願いいたします。

意見 市内で行われている各種イベントを市報・ケーブルテレビだけでなく、防災放送（電話）でもっと市も協力して市民に周知できないものだろうか。

対応 防災放送（電話）での各種イベントのPRを行うことですが、この防災放送は、ケーブルテレビの告知端末、電話はIP電話のことを言われていると思います。告知端末では、現在も、イベントなどのお知らせに利用していますが、なお一層利用内容についても充実できるように検討してまいります。IP電話は、端末の性質上、広報手段にはそぐわないものと考えます。

お問い合わせ先
三好市行革推進室（電話 72-7629）